

(社内メッセージ) 当社グループにおける新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえた対策の強化のお願い

2020年4月27日
東京電力ホールディングス株式会社
代表執行役社長 小早川 智明

新型コロナウイルスが感染拡大していく厳しい環境において、電力の安定供給ならびに発電所の安定的な運営、廃炉作業における安全確保、お客さま対応など、社会機能を支えるため、日々、細心の注意を払いながら取り組んでいただき、誠にありがとうございます。ホールディングス社長として、改めてお礼申し上げます。

これまで皆さん一人ひとりの安全と健康の確保を第一に考え、優先業務以外の原則在宅勤務の実施や入社前の検温の実施、通勤・就業時におけるマスク着用など、様々な対策を行ってきました。

しかしながら、誠に残念なことに、首都圏において、現在までに当社社員7名の新型コロナウイルスへの感染を確認しております。さらに、柏崎市内においては、立て続けに当社関係者5名の感染が確認されました。

特に柏崎市内の全ての感染者が当社関係者であり、地元の方々に対して大変なご心配をおかけしております。このことを受けて、櫻井柏崎市長からは特段のご心配と更なる対策の要請を直接ご連絡もいただいたところです。

これまで、出張の制限や発電所との往来については2週間程度の待機期間を設けるなど、感染予防対策を講じてきておりましたが、私は、この事態を大変重く受け止め、さらなる対策が必要と判断をしました。

具体的には、まずは、本日から当面の間、発電所の安全上必要な業務や一部の安全対策工事を除き、一旦作業を中断いたします。加えて、更なるリスク低減のため、原則としてゴールデンウィーク中の県外との往来の禁止、日常生活における不要不急の外出の自粛の徹底をお願いするとともに行動履歴について、記録を残す取り組みを始めます。この取り組みが、事業の運営はもとより社員やご家族の健康を守るためにも必要と考えています。

また、地域医療のご負担を軽減するために、発電所従事者の電離健康診断の受診を6月へ延期することを決めました。

これらの取り組みは、当社の社員に限らず、協力企業の方々やご家族にもお願いし、ご協力を頂きたいと考えております。発電所運営に関わる皆さんと一丸となって、この難局を乗り切ってまいりたいと考えております。

新型コロナウイルスについては、何よりも感染しないことが重要です。ゴールデンウィークに入中、不要不急の外出を避けるなど、引き続き、皆さんとともに取り組んでいきたいと思っております。

「自分を守る、家族を守る、仲間を守る、そして社会を守る」。この状況をご理解いただき、行動していただきますようお願いいたします。

以 上